

## （人間中心の社会「Society 5.0」がもたらす超スマート社会）

- 我が国は、AI、IoT、ロボットなどの第4次産業革命の新技术により、経済発展と社会的課題の解決を両立する、人間中心の社会「Society 5.0」を提唱し、人々に豊かさをもたらす超スマート社会の実現を目指している。
- 「Society 5.0」では、行政や民間企業、個人が持つデータが最適な保護の下に共有・利活用され、そのデータを用いてあらゆる産業や生活の場面で最先端技術を活用した様々なサービスが提供され、「便利さ」の享受のみならず、自然との共生や人間らしい幸せな暮らしの実現につながっていく。



### **(データと最先端技術を駆使した、東京版Society 5.0「スマート東京」を実現する)**

- 例えば、ロボットによる高齢者の生活支援により、今後増加する一人暮らし高齢者の不安軽減につながる。また、ウェアラブル端末を用いたリアルタイムの健康診断や病気の早期発見による健康寿命の延伸、デジタルテクノロジーを活用した子供の個性や成長に応じた学び、環境技術を駆使した都市と緑が融合したまちづくりやゼロエミッション化など、都民のQOLや幸福度の向上にも寄与する。
- こうした新技術の実装は世界中で進行しており、遠い将来の夢だと思われていたことが現実になる時代が目の前に来ているが、我が国のDXの遅れは深刻な状況である。今般の新型コロナとの戦いの中で、初期の段階から、感染経路追跡アプリの開発やオンライン授業の徹底など、ウィズコロナ時代の生活様式への速やかな移行に成功した国もある。
- DXが人々のQOLを高め、国や都市の競争力を左右する大きな鍵となっている。東京は、現下の状況を一気にDXを進めていくチャンスと捉えて、あらゆる産業や生活の場面で、データや最先端技術を駆使した質の高いサービスが提供される、東京版Society 5.0「スマート東京」を実現するための大胆な取組をスピーディーに展開する。
- 21世紀の基幹的公共インフラである「電波の道」（「TOKYO Data Highway」）を民間と都の最強タッグで構築し、いつでも、誰でも、どこでも「つながる東京」を実現し、自然・気象、インフラ、人々の暮らし、経済活動などの様々なデータを集約・融合・解析・処理するプラットフォームを通じて、都民のQOL向上につながる幅広い分野のサービスを展開していく。
- また、都庁自身のDXを進め、さらには、高いAIスキルを有する人材を戦略的に育成することで、「スマート東京」を強力に支えていく。

### **(世界のモデル都市としての地位を確立する)**

- 都市全体のスマート化は世界でも取組途上であり、東京というメガシティで成功すれば、世界中から羨望の眼差しを受けるモデル都市としてその地位は揺るぎないものになる。そして、Made in Japanの優れた品質や法的インフラなど世界的に信頼の高い日本・東京の強みを活かせば、「21世紀の石油」であるデータが世界中から集まり、新たなビジネスの創出にもつながる。
- 首都・東京は、誰もが快適で質の高い生活を送ることができる、活力に満ちた「スマート東京」へと大きく変貌を遂げ、「成長」と「成熟」が両立する明るい未来を実現するため、先頭に立って取組を進めていく。

# スマート東京 (東京版Society 5.0)

デジタルサービスで都民のQOL向上 3つのシティ実現 **セーフシティ** **ダイバーシティ** **スマートシティ**

防災	まちづくり	モビリティ	エネルギー	自然	ウェルネス	教育	働き方	産業
 <ul style="list-style-type: none"> <li>カメラ、ドローンで情報収集</li> <li>AI危険自動検知</li> </ul>	 <ul style="list-style-type: none"> <li>3Dデジタルマップ</li> </ul>	 <ul style="list-style-type: none"> <li>自動運転</li> <li>MaaS</li> </ul>	 <ul style="list-style-type: none"> <li>地産地消</li> <li>デマンドコントロール</li> </ul>	 <ul style="list-style-type: none"> <li>水と緑</li> <li>生物多様性</li> </ul>	 <ul style="list-style-type: none"> <li>見守りロボット</li> <li>病気早期発見</li> <li>遠隔診療</li> </ul>	 <ul style="list-style-type: none"> <li>個別最適化教育</li> <li>タブレット学習</li> <li>遠隔授業</li> </ul>	 <ul style="list-style-type: none"> <li>テレワーク</li> <li>単体業務AI化</li> </ul>	 <ul style="list-style-type: none"> <li>IoT、3Dプリンター</li> <li>農林水産業のデジタル化</li> </ul>



**都市デジタルトランスフォーメーション**

- デジタルシフト
- オープンガバメント
- デジタル人材



発災前の取組

防災×DX

都民や民間事業者の日頃の備えにテクノロジーをプラスし、より効果的・効率的な防災対策を推進するとともに、いかなる災害にも負けない強靱な都市基盤を構築

家庭・地域

防災備蓄に向けたWebサイト

家庭での備蓄品リスト及び数量を表示するWebサイトの運営により、備蓄の実践を推進



東京都防災アプリ・アプリ版東京マイ・タイムライン

- ・アプリならではの特性を生かして、マイ・タイムラインを簡便に作成できる仕様とするなど、作成機会の裾野を拡大
- ・外国人への防災情報の普及のため、多言語対応した東京都防災アプリ等の各種媒体を活用



オンライン防災セミナー



地域の防災リーダーや子育て世代等に対する防災セミナーにオンラインを活用し、地域防災力を向上

産業

クラウド化等によるBCP支援



中小企業の事業継続のため、システムのクラウド化等を支援

台風や猛暑等に強いスマート農業

耐風性のあるハウス内に、デジタル技術による統合環境制御システムを導入し、猛暑期でも最適な環境を実現

学校

VR・デジタル教材による防災教育

学校でVR等を活用した防災教育を実施



DXにより東京の防災対策をアップデート



福祉事業所等

福祉事業所等の通信手段強化

災害時にもサービス継続が求められる福祉・衛生事業所等に小型ソーラーパネル搭載の携帯電話充電器を配備

上下水道

IoT通信を用いたスマートメータによる配水管の漏水検知

I o T通信を用いたスマートメータを設置し、地震等により配水管が破損した際にいち早く漏水を検知



AIを活用した管渠劣化判定システムの開発



下水道管内の詳細な映像が取得可能なミラー方式テレビカメラにより得られた情報等から、損傷箇所や劣化度の判定を自動で行うシステムを構築し、診断精度の向上を推進

多機能型マンホール蓋による雨天時浸入水対策

下水道管内の水位情報をリアルタイムに測定する多機能型マンホール蓋を活用して、測定結果を共有することで市町村による効果的な原因調査と対策を促進



道路・河川・海岸

AI等による道路管理

- ・車載写真レーザー測量システム（MMS）やドローンなどにより計測したデータ等を基盤として道路施設情報を一元化することで、道路管理を効率化
- ・スマホアプリによる道路の損傷等の通報や、AIによる画像診断技術を活用し、道路管理の高度化を推進



水防災・高潮防災情報の発信強化

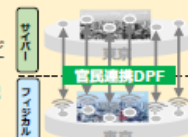


- ・水防災総合情報システムにおける雨量・水位・カメラ映像の統合表示や気象レーダーとの連携
- ・河川監視カメラのリアルタイムでの動画公開や情報サービス事業者への水防災情報の提供
- ・高潮防災総合情報システムで潮位や水門の開閉状況、海面のライブ映像等をリアルタイムでWeb上に公開

データの利活用

デジタルツイン実現プロジェクト

様々なデータの集約・連携を可能にする官民連携データプラットフォームを通じて新たなサービス開発・展開が促進され、サイバー空間（仮想空間）とフィジカル空間（現実空間）の融合によるデジタルツインを実現



活用例	サイバー空間	フィジカル空間
①データ取得	②分析・シミュレーション	③フィードバック
<ul style="list-style-type: none"> <li>・群集データ</li> <li>・SNS情報</li> <li>・車両通行実績情報</li> <li>・各種ハザードマップ情報</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・群集データや車両通行情報、SNS情報等を活用し、通行不能箇所等を迂回したルート情報をシミュレーション</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・災害時に通行可能性の高い物資搬送ルートや避難ルートをリアルタイムに提示</li> </ul>

## 戦略9 都市の機能をさらに高める戦略

### 人が憩える、緑が至る所にある西新宿

新宿グランドターミナルの再編や5G環境整備、次世代交通の整備等、駅周辺の機能更新を促進。新宿駅西口、新宿中央公園、玉川上水の緑道等と連携した緑のネットワーク形成と合わせ、楽しく歩けるまちづくりを推進



#### <西新宿における取組例>

<p>民間事業者による 屋内案内誘導アプリ<sup>※</sup>の導入</p> <p>※新宿駅周辺エリアを想定</p>	<p>5G・スマートポール</p>	<p>シェア電動 キックボード</p> <p>(出典) 株式会社Luup HP</p>	<p>自動運転タクシー</p>
<p>都市の3Dデジタルマップの 先行整備 (西新宿)</p>	<p>民間活力を導入した 公園のにぎわい創出</p>	<p>バリアフリー化の推進による 上下動線の確保</p>	

# 戦略10 スマート東京・TOKYO Data Highway戦略

デジタルの力で東京のポテンシャルを引き出し、  
都民が質の高い生活を送る「スマート東京」



コロナ禍で浮き彫りとなったデジタルトランスフォーメーションの遅れを、一気に進めていくためのチャンスと捉え、いつでも、誰でも、どこでも「つながる東京」の実現、データ共有と活用の仕組みづくり、行政のデジタル化を強力的に推進する。東京版 Society 5.0である「スマート東京」を実現することにより、都民のQOLを向上させるとともに、世界のモデル都市となることを目指す。

## 1 「電波の道」で、いつでも、誰でも、どこでも「つながる東京」を実現する

- 21世紀の基幹的公共インフラである「電波の道」（「TOKYO Data Highway」）を民間と都の最強タッグで構築し、いつでも、誰でも、どこでも「つながる東京」を実現する。
- 「スマート東京」先行実施エリアにおいて、5Gと先端技術を活用した都市実装を重点的に推進し、その成果を都内全域、全国へと展開する。

## 2 データ共有と活用の仕組みをつくり、行政サービスの質を向上させる

- ビッグデータを社会の基盤として、AIとIoTで人とモノがつながり、誰もが快適で質の高い生活を送ることができる「スマート東京」の実現に向け、様々なデータを集約するプラットフォームの構築と、データを活用した分野横断的なサービスの社会実装を強力的に推進する。

## 3 行政のデジタルトランスフォーメーションを強力的に進める

- 都庁をデジタルガバメントへと変貌させ、国や区市町村、民間企業等とのデジタル連携により、都民サービスの飛躍的な向上、都庁の機能強化、生産性・効率性の高い都職員の働き方を実現する。

## 2030年に向けた政策目標

## ① TOKYO Data Highway を実現

いつでも、誰でも、どこでも「つながる東京」の実現（都内5Gエリアの構築**100%概成**）（2030年）



## 1. TOKYO Data Highwayプロジェクト

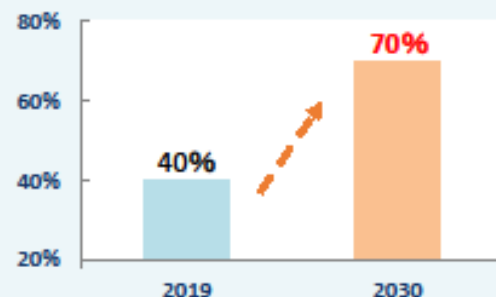
## ③ 都庁のデジタルシフトを推進

【行政手続のデジタル化（オンライン申請等）】

**100%申請可能**（2030年）

【キャッシュレス納税比率】

40%（2019年） → **70%**（2030年）



## 4. 都庁デジタルガバメントプロジェクト

## ② 分野横断的なサービスの都市実装を推進

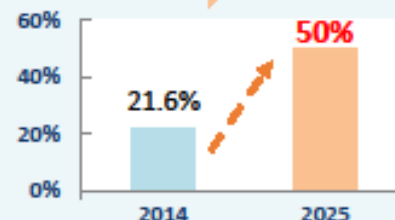
先行実施エリアでの展開・モデル確立（2022年）

都内全域で幅広い領域のサービスを展開（2030年）

## データを活用した早期社会実装プロジェクトを展開

【キャッシュレス決済比率】

21.6%（2014年） → **50%**（2025年）



【自動運転】

無人自動運転移動サービス実現

（2025年）



【交通（MaaS）】

異分野・都市のリアルタイムデータとの連携（2030年）

最先端モビリティ（無人自動運転車、空飛ぶクルマ等）の活用（2030年）

## 官民連携データプラットフォームの運用

官民の様々な分野のデータを活用し、都民のQOL向上につながるサービスを展開（2030年）

【分野例】 移動、キャッシュレス推進、ウェルネス、環境・エネルギー、オープン/デジタルガバメント、バリアフリー、教育・人材育成、観光、金融、横断的取組・その他 等

## 1. TOKYO Data Highwayプロジェクト

## 2. データを活用した社会実装早期実現プロジェクト

## 3. デジタルツイン実現プロジェクト

# 戦略10 スマート東京・TOKYO Data Highway戦略

## 1. TOKYO Data Highwayプロジェクト



- 通信事業者による5G基地局の設置促進や都内区市町村等との連携強化により、「つながる東京」を早期に実現
- 「スマート東京」先行実施エリアにおいて、5Gと先端技術を活用した分野横断的なサービスの都市実装を重点的に推進し、その成果を都内区市町村へ横展開することで、東京版Society 5.0「スマート東京」を実現

※西新宿・南大沢はTDH重点整備エリア

### 「スマート東京」の実現

#### 「つながる東京」の早期実現

##### 都保有アセットの開放

- ◆ 都保有アセットデータベース掲載データを精緻化（緯度・経度情報を付加）
  - ◆ 都保有アセット利用手順のワンストップ化
  - ◆ 基地局建設に関するアドバイザーの配置
- <開放アセットの例>



土地(神津島空港用地) 建物(東京ビッグサイト) 工作物(バス停)

##### 他自治体との連携

- ◆ 都内区市町村や他道府県とアセット開放のノウハウを共有し、5Gネットワークを拡大

#### 南大沢(東京都立大学)※

- 先端技術を活用したまちづくり
- 自動走行可能なモビリティ等の実証実験
- 都立大学のローカル5Gを活用した研究
- 大学発ベンチャーの活性化



自動運転車いす 自動運搬ロボット 東京都立大学ローカル5G設備

#### 【施策展開のイメージ】

ホップ 特定エリアで先行的に実施

ステップ 東京都全域で展開

ジャンプ 全国へ展開(共存共栄)

#### 西新宿※

- スマートボールを活用したデジタルサービスの実証
- 5Gを活用したサービスの公募・検証
- スタートアップの交流・支援施設の整備
- 5Gを活用した自動運転移動サービスの実証実験支援
- ビッグデータ等を活用したまちづくり



#### 都心部

- 分野横断的な様々なサービスが連携可能な都市OSの構築を支援
- 都市OSに蓄積したリアルタイムデータを活用したサービスの実証を行い、順次実装

大手町・丸の内・有楽町 竹芝 豊洲

##### <取組の例>

- ・ 飲食店等の混雑状況の見える化
- ・ 3Dマップや人流データ等を活用した防災情報提供



#### ベイエリア

- 先端技術開発を担うスタートアップやeスポーツ関連企業等の進出を支援
- 自動運転技術を活用したビジネスモデルの構築を支援
- 最先端技術を活用したイベント支援など、まち全体をショーケース化



#### 島しょ地域

- 八丈島において、小中学校における教育のデジタル化や5Gを活用した遠隔医療等のモデル事業を実施
- 八丈島での実証の結果を踏まえ、順次他の島へ横展開



新民生生活をアップデート